

故
岩
渕
美
克
教
授
主
要
業
績

故 岩淵美克教授 主要業績

【著書（共編著）】

- 『政治社会学』一藝社 二〇〇四年
『日本の連立政権』八千代出版 二〇一八年

【著書（共著）】

- 『管理とデモクラシー』学陽書房 一九八四年
『危機とデモクラシー』学陽書房 一九八五年
『投票行動と政治意識』慶応通信 一九八六年
『日本の総選挙 一九八六年』九州大学出版会 一九八七年
『現代の政治Ⅰ——日本の選挙と政党政治』北樹出版 一九九七年
『メディアと公共政策』芦書房 一九九九年
『国家のゆくえ——二一世紀世界の座標軸』芦書房 二〇〇一年
『政治学・行政学の基礎知識』一藝社 二〇〇四年
『地球型情報化の危機——グローバル化の断面図』芦書房 二〇〇五年

『グローバル化の危機管理論』 芦書房 二〇〇六年

『演習ノート 政治学』 法学書院 二〇〇七年

『比較政治学の新展開』——二二世紀の政策課題と新しいリーダーシップ』 ミネルヴァ書房 二〇一五年

『なぜ日本型統治システムは疲弊したのか』——憲法学・政治学・行政学からのアプローチ』 ミネルヴァ書房
二〇一六年

【学術論文】

「マス・メディアの政治的効果——第一三回参院選におけるTVニュースの内容分析」『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第二〇号 一九八五年

「意識調査にみる『若者の政治離れ』」『改革者』一月号 一九八六年

「政治的争点と世論形成過程——沈黙の螺旋理論の実証研究」『聖学院大学論叢』第二卷 一九八九年

「争点報道と争点選択——議題設定機能の検証」『慶應義塾大学新聞研究所年報』第三三三号 一九八九年

「地方選挙の争点形成とマス・メディア」『都市問題』第八二卷第一〇号 一九九一年

「地方紙の社会的役割と経営戦略——朝日新聞と埼玉新聞の内容分析」『聖学院大学論叢』第四卷第一号 一九九一年

「地方政治と情報化——都・県議会議員の情報度調査」『慶應義塾大学新聞研究所年報』第三八号 一九九二年

「予測報道と投票行動の決定——九二年の参議院選挙の分析」『聖学院大学論叢』第五卷第一号 一九九二年

「日米摩擦報道におけるマス・メディアの役割」『レヴアアサン』第一二二号 一九九三年

- 「選挙制度と世襲議員」『改革者』七月号 一九九三年
- 「地方紙の報道と販売戦略」『政経研究』第三〇卷第三号 一九九四年
- 「予測報道とアナウンスメント効果——第四〇回衆議院選挙の分析」『政経研究』第三〇卷第四号 一九九四年
- 「東京都知事選における無党派層の投票行動」『選挙研究』第一一号 一九九六年
- 「無党派層とマス・メディア」『世界と議会』一二月号第二九八号 一九九六年
- 「日本における選挙キャンペーンとマス・メディア」『政経研究』第三三卷第四号 一九九七年
- 「政党支持なし層と選挙キャンペーン」『政経研究』第三四卷第三号 一九九八年
- 「『無党派層』と政治意識の変化——新たな無党派層の出現と意味」『政経研究』第三四卷第四号 一九九八年
- 「政権を左右する世論のパワー」『改革者』第三九卷第六号 一九九八年
- 「一九九八年参議院選挙と情勢報道」『政経研究』第三六卷第一号 一九九九年
- 「世論と政権——内閣支持率とマス・メディア」『政経研究』第三六卷第二号 一九九九年
- 「政党に対する失望と個人への期待感——投票行動にみる石原都知事誕生の深層断面」『改革者』第四〇卷第六号 一九九九年
- 「情報流通とコミュニケーション・ギャップ——韓国における日本情報」『政経研究』第三六卷第四号 二〇〇〇年
- 「世論・政治・マス・コミュニケーション」『桜文論叢』第五五卷 二〇〇二年
- 「世論と政治——政治不信とマスコミ」『世界と議会』第四五七号 二〇〇二年
- 「内閣支持率と政治報道」『法学紀要』第四四卷 二〇〇三年

「政策なき政権運営——小泉政治の出口なき特質」『改革者』八月号 二〇〇五年

「黎明期のネット選挙——どうする？どうなる？インターネットを使った選挙運動」『CYBER SECURITY

MANAGEMENT』第七卷第七五号 二〇〇六年

「地方政治と情報化——都道府県議会議員調査を中心に」『政経研究』第四二卷第三号 二〇〇六年

「メディア政治の行方」『公明』一月号 二〇〇六年

「政治とメディア」『マス・コミュニケーション研究』第七〇号 二〇〇七年

「ネット選挙の可能性」『ジャーナリズム&メディア』第二号 二〇〇九年

「世論と世論調査報道」『日本大学法学部創設二二〇周年記念論文集』第二卷 二〇〇九年

「メディア政治と世論」『政経研究』第四六卷第二号 二〇〇九年

「第四五回総選挙の分析——民主党の勝因とメディア効果」『ジャーナリズム&メディア』第三号 二〇一〇年

「補欠選挙の研究」『政経研究』第四九卷第三号 二〇一三年

「政治制度の再検討——二院制と選挙制度を中心に」『政経研究』第四九卷第四号 二〇一三年

「一八歳選挙権引き下げは選挙を変えられるのか？——公選法改正にみる現代選挙事情」『改革者』第五六卷第六号

二〇一五年

「舛添問題に見る政治資金規正法の不備——政治資金を問題化しないために」『改革者』第五七卷第九号 二〇一六年

【研究ノート】

- 「政権交代後の政治報道に関する考察——民主党政権と取材体制」『ジャーナリズム&メディア』第六号 二〇一三年
「参議院議員選挙制度改革に関する考察」『ジャーナリズム&メディア』第九号 二〇一六年

【資料（単独）】

- 「日韓調査の分析」『政経研究』第二七卷第三号 二〇〇〇年
「ジャーナリスト教育調査の分析」『政経研究』第四〇卷第一号 二〇〇三年

【翻訳（単独）】

- 「ポー・サルヴィック 現代スウェーデンの政党制と選挙の趨勢」『選挙研究』第一号 一九八六年

【翻訳（共同）】

- 『国家興亡論——「集合行為論」からみた盛衰の科学』PHP出版社 一九九一年

【その他】

- 「マス・メディアと政治過程」『桜門春秋』第六五号 一九九五年
「政治意識の諸相」『選挙研究』第二二号 二〇〇六年

故 岩淵美克教授 主要業績

【学会報告（単独）】

「売上税法案にみる新聞報道の影響」日本新聞学会 一九八七年

「地方新聞の経営——社会的意義と役割」日本新聞学会 一九九一年

「日本における選挙キャンペーンとマス・メディア」日本選挙学会 一九九六年

「テレビの政治的役割に関する史的分析」日本マス・コミュニケーション学会第二七期第一七回研究会 二〇〇〇年

「日本におけるインターネットと政治」第一〇回日韓国際シンポジウム「メディアと政治」 二〇〇二年

【学会報告（共同）】

「選挙の争点分析——有権者の争点と新聞の争点報道に関する考察」日本選挙学会 一九八四年

「東京都議選——投票行動と地域特性、財政、政治意識」日本選挙学会 一九八五年

「情報化と政治リーダー——国会議員の情報化調査をふまえて」日本マス・コミュニケーション学会 一九九二年